

平成29年度行政評価 事務事業評価シート(平成28年度実績)

事務事業コード	040201010	予算コード	01003200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	防犯推進事業	正規職員数	0.76	国庫支出金	0	有効性	B	市民の安全安心を守る事業なので、事業の継続は必須。	
担当課	市民協働課	嘱託職員数	0	府支出金	1,832				
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	効率性	B		
		歳出(千円)		その他	87	妥当性	B		
		人件費総額	6,501	一般財源	13,745	受益者負担	D		
				減価償却費	0				
				事業費	9,163				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	15,664	緊急性		A		事務事業実施内容	
実施手法	補助・負担	市民1人当たりコスト(円)	155					ひったくりやこどもを狙う犯罪、青少年の非行などを防止し、安全なまちづくりを行うこと及び大和川以南の大阪湾沿岸海域における海上犯罪の予防・海上治安の向上を図った。	
対象		活動指標	H28実績	公的関与		A			
特定の団体	対象数	3	泉佐野警察署管内防犯協議会総会	1.0					
泉佐野警察署管内防犯協議会、大阪阪南地区水上防犯協会、海上保安			大阪阪南地区水上防犯協会総会	1.0	実施主体・委託化	B			
事業の内容			海上保安協会総会	1.0					
ひったくりやこどもを狙う犯罪、青少年の非行などを防止し、安全なまちづくりを行うために様々な啓発活動を行う泉佐野警察署管内防犯協議会に、大和川以南の大阪湾沿岸海域における海上犯罪の予防・海上治安の向上のための活動を行う大阪阪南地区水上防犯協会に、海洋汚染の監視等の活動を行う海上保安協会に対する負担金を負担している。市内8駅周辺に48台防犯カメラを設置。町会・自治会による防犯カメラ15台を設置。また、青色防犯パトロール事業を展開して、安全・安心なまちづくりを進めている。					他の事務事業との関連	A			
			成果指標	H28実績	透明性	A			
			泉佐野警察署管内防犯協議会活動回数	84.0					
			大阪阪南地区水上防犯協会活動回数	20.0	財政健全化計画	該当なし			
			海上保安協会活動回数	14.0					
					財政健全化の取組	該当なし			
事業の目的		コスト指標	H28実績	改革改善プラン達成度	該当なし				
ひったくりやこどもを狙う犯罪、青少年の非行などを防止し、安全なまちづくりを行うこと及び大和川以南の大阪湾沿岸海域における海上犯罪の予防・海上治安の向上を図る。犯罪に対する抑止力として、防犯カメラの設置や青色防犯パトロールの必要性が求められている。			防犯協議会負担金市民一人当たり単価	17.2					
			水上防犯協会負担金市民一人当たり単価	0.3					
			海上保安協会負担金一人当たり単価	0.3					